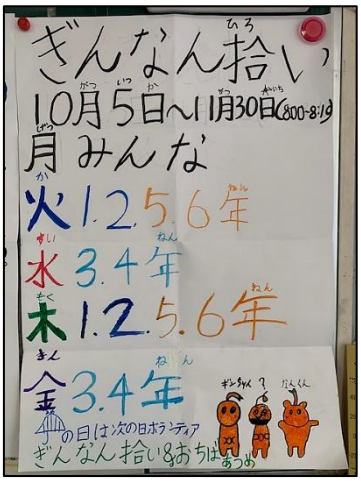
【学校教育目標】「確かな学力　豊かな心　健やかな体」
知・徳・体のバランスのとれた力を育くむ

伊岐佐小学校便り　No. 20
令和８年９月30日発行
文責　校長　梶原　康裕

キラ・ニコ・ドン・パッ

キラキラ輝く子ども　ニコニコ笑顔の子ども　ドンドン挑戦する子ども　パッと行動する子ども

今年はどのぐらいの収穫になるのでしょうか…





校庭の銀杏の実が色づき、最近、実の落ちる量が日に日に増えてきました。左写真にもあるように５年生が計画を立てて先生方と子供で銀杏拾いを開始します。しかし、学校だより１２号でお知らせをしていましたが、夏場に大量の青い実が落ちたために、校舎側の銀杏の実の落下が少ないです。運動場道路側にある銀杏は夏場の落下が少なかったので、まだ枝に実がたくさんついています。堤教頭先生も「昨年は、もう地域の方に銀杏洗いのお手伝いを依頼していたんですがね…」とのことで、現在、様子を見ているところです。

道徳っていろんな切り口があるのです


とても良い雰囲気でした

各学校には研究テーマが設定されています。今年度の伊岐佐小学校は「互いを認め合い、望ましい人間関係を築く児童の育成～思いを伝えあう道徳科を通して～」となっています。先日、５・６年生学級で道徳科の研究授業が行われました。子供たちに対して草津先生は「心が広いと思いますか？」という質問から入り、寛容というテーマについて、議論が展開されました。「時と場合による！」「気分によるかな…」など、正直に自分の思いを伝える姿が印象的でした。『折れたタワー』という教材文を読み、主人公の思いに自分を重ね合わせながら考えを深めていきました。授業後は、伊万里市立立花小学校の水田先生を迎え、研究協議会を行いました。

いいところもあれば悪いところもあります

例年の４月に小学６年生と中学３年生を対象とした全国学力・学習状況調査が行われています。教科のテストに加えて「児童生徒質問紙調査」が実施されます。その中には、平日におけるスマートフォンやタブレット（SNS・動画視聴・ゲームなど）の使用時間についての設問がありました。**国の分析結果によりますと、「平日のスマホや動画視聴等の利用時間が長くなればなるほど、各教科の平均正答率は低くなる傾向がみられる」ということが出ています。**デジタル機器は学習や情報収集に欠かせない大変便利な道具である一方で、長時間の利用は睡眠不足や集中力の低下、学習時間の不足につながりやすい側面もあります。「夜〇時以降はリビングに置く」「〇時間使ったら休憩する」など、ぜひご家庭でも「我が家のルール」や利用時間、睡眠時間などについて、お子様と一緒にお話ししていただけますと幸いです。学校でも引き続き、情報モラルや端末の適切な使い方について指導してまいります。